

令和3年11月26日（金）
九州厚生局地域共生セミナー

諫早市における認知症施策の 取り組みについて

～コロナ禍をチャンスに変える～

長崎県諫早市高齢介護課 蠣崎 幸恵

諫早市の紹介

長崎県の中央部に位置し、東は有明海、西は大村湾、南は橘湾と3方が海に面し、北は多良岳の秀峰を仰ぎ4本の国道と、JR、島原鉄道が交わる交通の要所。

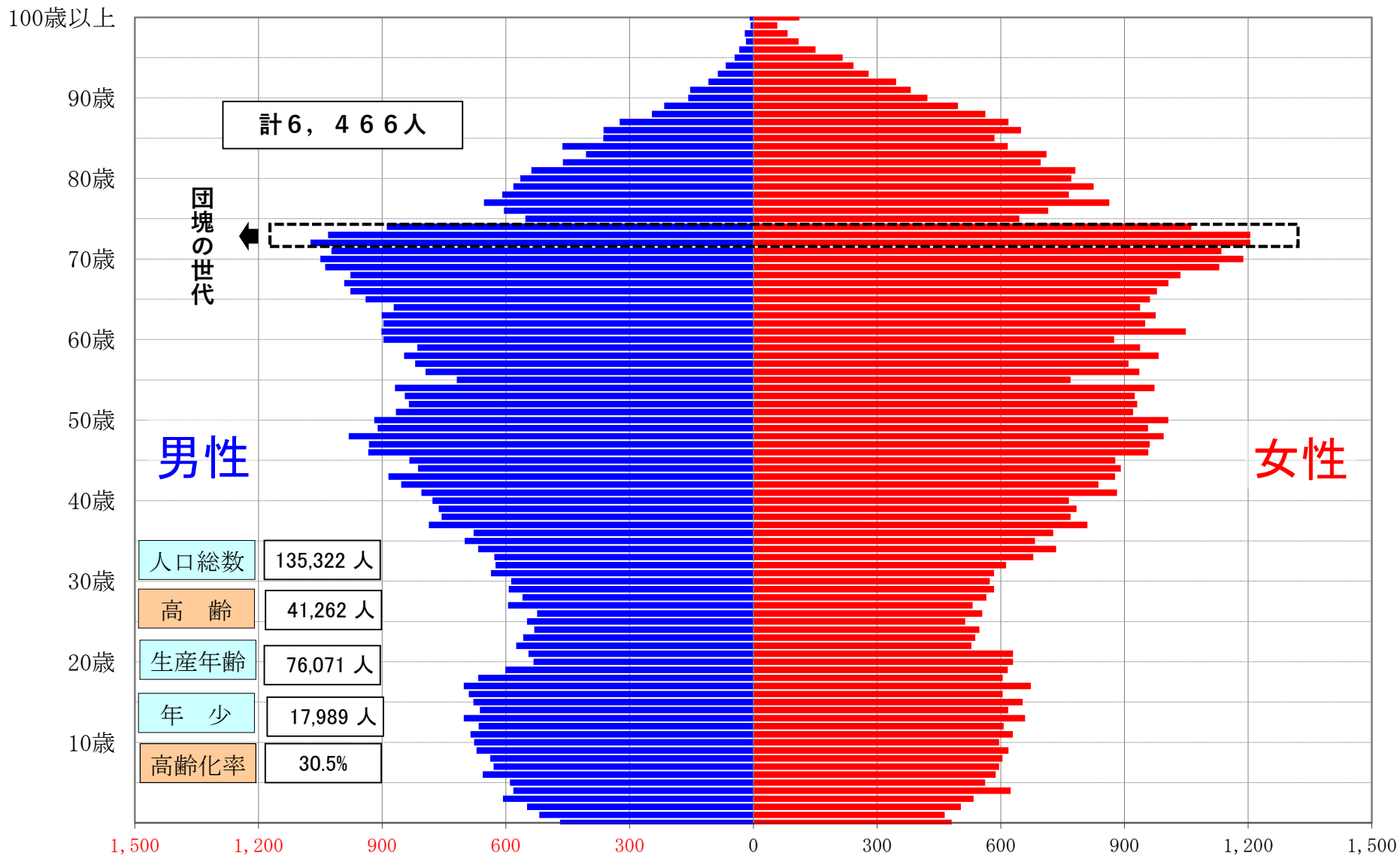
市の中央部を流れる本明川は、市街地を流れて有明海に注ぎ、下流の諫早平野は県下最大の穀倉地を形成している。肥沃な丘陵地帯はみかんや野菜の特産地である。



体操界のキング
内村 航平選手



人口の年齢構造（諫早市 R3.9.1現在）



要介護認定者数の状況(諫早市 R3.3現在)

年齢 階層	高齢者	認定者数	認定率	介護度別内訳 ((B)の内訳)						
	人口 (A)	(B)	(B)/(A)	支1	支2	介1	介2	介3	介4	介5
歳	人	人	%	人	人	人	人	人	人	人
65-69	10,170	209	2.1	30	30	57	25	27	26	14
70-74	10,586	490	4.6	82	90	116	62	59	46	35
75-79	6,829	686	10.0	111	120	166	88	85	72	47
80-84	5,935	1,426	24.0	199	200	271	146	140	99	83
85-89	4,447	2,153	48.4	300	300	409	216	209	129	129
90-	3,120	2,316	74.2	38	38	50	28	28	19	198
(再掲)										
65-74	20,756	699	3.4	112	120	173	88	85	72	49
75-	20,331	6,581	32.4	992	1,004	1,646	874	860	748	457
計	41,087	7,280	17.7	1,104	1,124	1,819	962	945	820	506

**認知症の症状のある者の割合
(認知症老人日常生活自立度Ⅱα~M)**

4,289人(約58%)

(注) 高齢者人口は、R3.4.1現在の住民基本台帳人口による。

諫早市における地域包括ケアの推進体制

諫早市地域包括ケア推進協議会【16名】

(地域包括ケアシステム構築のための有識者や関係機関、関係団体の代表者で構成)



在宅医療介護
連携推進会議

【14名】

認知症対策
推進会議

【14名】

介護予防・日常
生活支援推進会議

【13名】

(市レベル)

(圏域レベル)

圏域別地域ケア会議 (中央部・北部・西部・南部・東部)

個別地域ケア会議 (中央部・北部・西部・南部・東部)



住民主体の活動組織 (自治会、民生委員等)

地域
ケア
会議

諫早市における地域包括ケアの推進体制（委員構成）

地域包括ケア推進協議会

（15名+1名）

平成27年8月5日設置

【行政】

- 諫早市
- （顧問：市長、会長：副市長）

【医療関係】

- 諫早医師会
- 諫早市歯科医師会
- 諫早市薬剤師会
- 長崎県看護協会県央支部
- 諫早総合病院

【介護関係】

- 長崎県老人福祉施設協議会
県央ブロック施設代表者会
- 諫早市グループホーム連絡協議会
- 長崎県介護支援専門員協会
諫早支部
- 諫早市通所サービス事業所
連絡協議会
- 【福祉団体・住民代表】
- 諫早市自治会連合会
- 諫早市民生委員児童委員協議会
連合会
- 諫早市老人クラブ連合会
- 諫早市社会福祉協議会
- 諫早市シルバー人材センター

在宅医療介護連携 推進会議

（14名）

平成27年8月5日設置

【医療関係】

- 諫早医師会
- 諫早市歯科医師会
- 諫早市薬剤師会
- 長崎県訪問看護ステーション
連絡協議会
- 諫早総合病院
- 長崎県医療ソーシャルワーカー
協会

【介護関係】

- 長崎県老人福祉施設協議会
県央ブロック施設代表者会
- 長崎県老人保健施設協会
- 諫早市グループホーム
連絡協議会
- 長崎県介護支援専門員協会
諫早支部

【行政】

- 県央保健所
- 諫早市地域包括支援センター
運営法人代表者会議
- 健康福祉部

認知症対策推進会議

（14名）

平成25年9月11日設置

【医療関係】

- 諫早医師会
- 認知症専門嘱託医
- 諫早市歯科医師会
- 諫早市薬剤師会
- 長崎県訪問看護ステーション
連絡協議会
- 長崎県作業療法士会
- 長崎県医療ソーシャルワーカー
協会

【介護関係】

- 諫早市グループホーム連絡協議会
- 長崎県介護支援専門員協会
諫早支部
- 諫早市通所サービス事業所
連絡協議会
- 【福祉団体・住民代表等】
- 諫早市民生委員児童委員協議会
連合会
- 諫早市老人クラブ連合会
- 諫早市連合婦人会
- 認知症の人と家族の会
長崎県支部 諫早つつじ会

介護予防・日常生活支 援推進会議

（13名）

平成27年8月5日設置

【医療関係】

- 諫早医師会
- 諫早市歯科医師会
- 長崎県歯科衛生士会諫早支部
- 長崎県理学療法士協会

【介護関係】

- 諫早市通所サービス事業所
連絡協議会
- 長崎県介護支援専門員協会
諫早支部

【福祉団体・住民代表】

- 諫早市自治会連合会
- 諫早市社会福祉協議会
- 諫早市地区社協会長会
- 諫早市民生委員児童委員協議会
連合会
- 諫早市老人クラブ連合会
- 諫早市シルバー人材センター
- 諫早市食生活改善推進協議会

諫早市の認知症施策

市民の認知症に関する
理解を深めるため

普及啓発

- 認知症講演会
- 認知症サポーター養成講座
- いさはやオレンジ手帳
- いさはやオレンジ手帳書き方講習会
- 認知症SOS模擬訓練

2

認知症の人や家族が
安心して過ごせる
地域をつくるため

本人・家族支援

- 専門相談
- 認知症初期集中支援チーム
- 認知症ケアパス
- いさはやオレンジ手帳
- オレンジ連携シート
- 多職種協働研修
- 高齢者見守り（ペンダント・GPS）

本人が希望をもって自分らしく
暮らしていくため

本人発信支援

- 講演会等での認知症ご本人の意見を反映
- 本人視点を盛り込んだ
簡易版認知症ケアパス作成

1

① 本人視点を盛り込んだ簡易版認知症ケアパス (いさはやオレンジガイド)

◎ 諫早市の認知症ケアパス

個々人のケアパス	地域のケアパス
<ul style="list-style-type: none">❖ いさはやオレンジ手帳❖ オレンジ連携シート	<ul style="list-style-type: none">❖ 諫早市認知症ケアパス (全市版・地域版を収録)



認知症対策推進会議 (R1~)

情報量が多い
簡易的な物が必要だ

「認知症の人の心の声アンケート」結果を盛り込み
本人視点で作ろう

本人が使いやすいケアパス
で空白の期間に対応しよう

利用しての意見を集約し、
修正しながら、より使いやすい
ケアパスとして、
段階的な普及を図ろう

❖ 本人視点を盛り込む



いさはやオレンジガイドは
本人、家族、周囲の方にとって、相談の入り口
情報を詰め込まず、シンプルな構成にし、
諫早市認知症ケアパスに繋ごう

留意する点

対応策

本人、家族が読みやすい、
わかりやすい内容

- ・ 字体を統一、字の大きさ、濃淡
- ・ 高齢者が見やすい背景色で字を強調
- ・ わかりやすい表現を使う

認知症ケアパスと連動する

- ・ 認知症ケアパス（共通部分）を基調とする

認知症診断直後、不安を持つ方が
前向きに取り組める構成

- ・ 「認知症と共に生きる希望宣言」を強調
- ・ 「認知症とは」を独立させて説明



いさはやおレジカイト
物忘れが
気になり始めた
あなたへ

① 開く

- 認知症と共に生きる希望宣言
- 一 自分自身が知られていく常識の殻を破り、前を向いて生きていきます。
 - 二 自分の力を活かして、大切にしたい暮らしを続け、社会の一員として、楽しみながらチャリティ活動していきます。
 - 三 私たち本人同士が、出会い、つながり、生きていく力をわき立たせ、元気に暮らしていきます。
 - 四 認知症とともに生きている体験や工夫を活かし、暮らしやいろいろなことを一緒に作っていきます。
 - 五 自分の思いや希望を伝えながら、味方になってくれる人たちと、身近なまぢで見つけ、一緒に歩いていきます。
- 一歩先に認知症になった私たちが
すべての人たちへ送る
（日本認知症本人フロンティア制作）

⑤ 閉じる

大丈夫
ひりて不安に
ならない

できないことは増えたと、皆さ良
くしてくれて嬉しい。(80代女性)

フロンティアに老人会旅行。
楽しみは沢山ある。(80代男性)

自分にできることがある。
役に立ちたい。(80代女性)

何度も声を出す。伝わった時、相手が
笑顔になってほっとする。(80代男性)

症状や経過に合わせた「私の希望」
をかええるサービスや活動があります
こちらの内側をご覧ください

認知症の人の気持ちを聞いて下さい。
とまどい、不安、孤独が見えてきました

色々からないことかあって、取っつかない。
夫や子供に迷惑をかけて申し訳ない。
(80代女性)

頭がおかしくなりよる
淋しくたまらない。(80代 女性)

最近なんだか変なんです
わからないことか沢山あって
思い出そうとして出てこない
どうしたらいいんでしょう。(50代 男性)

忘れたいようにメモを書くと、
そのメモをみつけられない
おかしい。(70代 女性)



認知症は「誰もがなりうる身近な病気」です

認知症とは脳がダメージを受け、生活がしづらくなった状態です。進行は緩やかで個人差があります。



記憶障害

覚えられない・すぐ忘れる

理解や判断力の障害

考えるスピードが遅くなる・いつもと違う出来事で混乱する

見当識障害

場所がわからない・気候に合った洋服を選べない

実行機能障害

計画を立て、段取りをできない



本人の性格や素質など

本人を取り巻く環境や心理状態

不安・うつ状態・幻覚・妄想徘徊・興奮・暴力・不潔行為などが起こることがあります

こんな症状に心当たりはありませんか？

- なんでもしまい込み、探し物が多い
- 何度も同じことを言ったり、尋ねたりする
- 急用でもないのに頻繁に電話をかける
- 使い慣れた物の操作ができなくなった
- 同じ物ばかり買ったり、調理したりする
- 冷蔵庫の中に同じ品物が多数入っている
- 以前と違い、疑り深く、怒りっぽくなった



もしかすると、認知症かもしれません

※八折り版で手に取りやすいよう工夫

私の希望をかなえるサービス【活動の一覧】

詳しくは **諫早市認知症ケアパス** をご覧ください。
市高齢介護課・各地域包括支援センターで配布しています。



介護保険認定申請の時期の目安



	気づき	初期	中期	後期	
普通の生活で私の希望 認知症かもしれない 普通の生活は自分でできる 誰かの見守りがあれば普通の生活は自分でできる 普通の生活に手助けや介護が必要 常に介護が必要	元気な時 物忘れはあるけど自分のことは自分でできます	自分のことは自分でできるけど、たまに買い物やお金の管理に失敗があります	薬の管理ができません 電話や来客者との会話1人では難しいです	着替えや食事、トイレ等がうまくできません	ほぼ寝たきりで会話するのも難しいです
予防(備え)	◇より良いサービスを受けるための私の情報共有 [いさはやオレンジ手帳の記入] ◇認知症の正しい理解をしよう [介護予防教室 認知症講演会] <div style="float: right; border: 1px solid black; padding: 2px;">市高齢介護課 ☎22-1500</div>				
交流役割	◇ご近所さんと一緒に [ふれあいいきいきサロン ボランティアセンター 見守りネットワーク活動 ふれあい食事サービス] 市社会福祉協議会 ☎24-5100 ◇地域活動・ボランティアにみんなで参加しよう[自治会 連合婦人会 老人クラブ 公民館講座] ◇ひとりで悩まないで話をして交流しよう [認知症カフェ 認知症の人と家族の会] 市高齢介護課 ☎22-1500				
病院と介護保険	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%;"> <p>◇かかりつけ医 ◇かかりつけ歯科医 ◇物忘れ相談医</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>ここらからだの健康のことを早いうちから相談しましょう</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>専門医療機関 認知症疾患医療センター</p> <p>JCHO諫早総合病院 ☎ 22-1333</p> </div> </div> <div style="width: 50%;"> <p style="text-align: center;">介護保険サービス</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%;"> <p>《自宅で》</p> <ul style="list-style-type: none"> ○介護サービスの利用や調整の相談 ○デイサービス・デイケア ○認知症の方限定デイサービス ○訪問診療 ○訪問看護・リハビリ ○訪問介護 ○福祉用具の貸与 ○短期間のお泊り </div> <div style="width: 45%;"> <p>《施設で》</p> <ul style="list-style-type: none"> ○認知症の方限定小グループ住居 ○生活支援が付いている住まい ○在宅復帰を目指すリハビリ施設 ○常時介護が必要な方の施設 </div> </div> <div style="text-align: right; margin-top: 10px;">市高齢介護課 ☎22-1500</div> </div> </div>				
私も家族も安心	◇声掛けや見守り [民生委員や福祉協力員 声かけや見守りに取り組むボランティアの声掛け] 市社会福祉協議会 ☎24-5100 ◇認知症カフェや認知症の人と家族の会 ◇認知症サポーター 市高齢介護課 ☎22-1500				
	◇迷わず相談 [認知症相談・専門相談 認知症初期集中支援チーム] <div style="float: right; border: 1px solid black; padding: 2px;"> ○市高齢介護課 ☎22-1500 ○地域包括支援センター 中央部 ☎27-0730 北部 ☎25-7030 西部 ☎43-3330 南部 ☎35-2887 東部 ☎32-6556 </div>				
	◇道に迷いそうなときに [オレンジ見守りペンダント 位置情報確認装置貸与] ◇後見人を決めるには ◇ひとり暮らしの急病時等の緊急時連絡 [緊急通報システム事業] ◇宅配弁当 [栄養改善配食サービス事業] 市高齢介護課 ☎22-1500 ◇緊急・災害時の通報を受けるために [要援護者台帳] ◇判断能力が不十分な方へ [日常生活のお金の管理や書類の手続きの手伝います] 市社会福祉協議会 ☎24-5100				

○普段からご近所さんと挨拶しあう関係づくり
○いざというときの連絡先を決めておきましょう
○かかりつけ医をもつ



❖ 段階的な普及

第1段階

- 【相談機関】 計6ヶ所
- ・ 地域包括支援センター
 - ・ 認知症疾患医療センター

第2段階

- 【オレンジ手帳配付協力機関】 計254ヶ所
- ・ 居宅介護支援事業所
 - ・ 介護サービス事業所
 - ・ 調剤薬局
 - ・ 小規模多機能居宅介護
 - ・ 認知症対応型共同生活介護

最終段階

- <地域関係機関>
- ・ コンビニ
 - ・ スーパー
 - ・ 公民館
 - ・ 図書館 他

ただいま
集約中!

アンケート実施・修正・推進会議での協議

アンケートで本人、家族の声を収集。
説明者から改善点を指摘してもらい、
修正版を作成。

令和2年度「いさはやオレンジガイド」アンケート調査票 【認知症疾患医療センター・地域包括支援センター用】

アンケートをご回答いただく際の留意点

- ・お一人につき、1枚ずつ回答をお願いします。
- ・事業所名及び記入者名は、提出の確認及び内容確認にのみ使用し、外部には出しません。

1. 記入者情報

①事業所名	②記入者氏名	④サービス等種別
		<input type="checkbox"/> 認知症疾患医療センター <input type="checkbox"/> 地域包括支援センター
③連絡先		
E L	F A X	
Email		

2. 「いさはやオレンジガイド」の様式について

*該当するものにチェック し、()には具体的な内容を書いてください。

Q1 「いさはやオレンジガイド」は認知症の本人、ご家族にとってわかりやすい資料でしょうか？

<表面について>

1. わかりやすい

2. わかりにくい

どのような点がわかりやすいですか？

どのような点がわかりにくいですか？

(複数選択可)

(複数選択可)

1. 文字の大きさ、字体が見やすい
2. 文字の多さが適当で見やすい
3. 心あたりの症状を確認することができる
4. 認知症の症状がわかる
5. 認知症の本人の不安な気持ちを知ることができる
6. 「私の希望」や「認知症と共に生きる希望宣言」を知ることによって認知症を前向きにとらえることができる
7. その他

1. 文字の大きさ、字体がみにくい
2. 文字が多く読みづらい
3. 認知症症状の例示が少ない
4. 折り方、見方がわかりにくい
5. その他

<裏面について>

1. わかりやすい

2. わかりにくい

どのような点がわかりやすいですか？

どのような点がわかりにくいですか？

(複数選択可)

(複数選択可)

1. 認知症のすみ方がイメージできる
2. いつ、どこで、どのようなサービスが受けられるかわかる
3. 相談先がわかる
4. 介護申請のタイミングがわかる
5. 介護、医療、福祉、地域活動などサービスのおおまかな全体像がわかる
6. その他

1. 文字が多く見にくい
2. 「いさはやオレンジガイド」で示すサービスの「認知症ケアパス」の該当ページがわかりにくい
3. それぞれのサービスの詳しい内容がわからない
4. その他

次のページにお進みください。

Q2 「いさはやオレンジガイド」を活用しましたか？

1. 活用している

2. 活用していない

どのような場面で活用したか教えてください。

活用していない理由を教えてください。

(複数選択可)

(複数選択可)

1. 外来受診、来所相談などの面談時
2. 訪問時
3. 退院調整時の面談時
4. その他

1. 対象となる方がいなかった
2. 全体的、部分的に使いつらい

どのような点ですか。改良案があれば教えてください。

3. その他

どのような方に活用したか教えてください。

(複数選択可)

1. 認知症(うたがいの)本人
2. 認知症(うたがいの)家族
3. 介護支援専門員
4. 民生委員・児童委員
5. その他

どのように活用したか教えてください。

(複数選択可)

1. オレンジガイドのみ利用
2. オレンジガイドと認知症ケアパスをあわせて利用
3. その他

② 継続事業の評価と改善

◎認知症サポーター養成講座

図書館とのタイアップ

(定期的に講座開設・世界アルツハイマーデーイベント実施)

⇒子どもから高齢者まで多くの市民が利用する場を拠点とし、普及を図る

ポイント

地域活動の休止が相次ぐ中、個別の活動として利用された。コロナ禍でも来館者数にほぼ変化なかった。

◎いさはやオレンジ手帳

「オレンジ手帳書き方講習会」を市内17カ所、85回実施

⇒小集団で住民と対話。丁寧に声を拾い、活用の現状を把握する。

ポイント

非常事態宣言下を除き、一般介護予防教室は継続。教室とのタイアップで小集団でも対話の場を確保できた。

◎認知症講演会

認知症普及のためのDVD作製ワーキンググループを立ち上げ

⇒関心の有無にかかわらず、日常的に認知症の情報に触れられる環境を作る

○DVDに限定せず、認知症への偏見を無くすための手法を模索

○市報に「認知症特集」「毎月、理解促進4コマ漫画」を掲載

認知症サポーター養成講座

【目的】

認知症についての正しい知識をもち、認知症の人やその家族への理解を深めるとともに、認知症の人が地域で安心して暮らせるよう、声かけや対応の仕方の学ぶ。

【内容】

- ・認知症の人の正しい理解
- ・認知症の人と家族の会 渡部さんの講話
(家族の気持ちを理解する)
- ・認知症本人の戸惑いについてのDVD視聴
- ・認知症の人の対応を体験
- ・意見発表

【実績】 (平成20年7月～令和3年3月末)

開催回数: 405回

サポーター数: 12,659人

NEW

個人でも
受講可能に

⇒これまでは、10人以上のグループからの申込としていたが、個人からでも受講できるように、市内の図書館を会場としたサポーター養成講座を開催した。



いさはやオレンジバッジ

①-2

諫早市消防団

NEW



諫早市で初めて、消防団員への講座を行いました。



大雨が続き避難が必要な状況ですが、家から出たくありません。

明峰中学校



真夏に厚着をしてボーっと歩いている方がいます。どう声をかけますか？



認知症の方の気持ち、家族の気持ちを知ってもらいました。

いさはやオレンジ手帳書き方講習会

◆いさはやオレンジ手帳◆

認知症に備えて、元気な頃から、今まで生きてきた暮らしや思い、希望等必要な情報をまとめておくことができる手帳

【目的】

- オレンジ手帳に自分史(エピソード)を書き残し、認知症に備える
- 地域に認知症への理解者を増やす



【内容】

<定期開催> 介護予防教室(脳トレ)終了後20分程度、3回シリーズ



1回目 「オレンジ手帳の存在を知ろう。ご存知ですか?オレンジ手帳」

2回目 「認知症を理解しよう」

3回目 「自分の身の回りの人にもオレンジ手帳を広げよう」

<不定期開催> 65歳以上の10名以上のグループからの申請、60分程度



【実績】

実施回数 20回、延べ参加者数 194人(R3.5.1~R3.8.31)

R2年度 いさはやオレンジ手帳書き方講習会まとめ

(1) 普及について

オレンジ手帳をご存じですか？

知っている

知らない

持っている

持っていない

書いている

書いていない

全部
書いている

一部
書いている

書き方が
わからない

必要性が
わからない

書きたくない

はじめだけ

自分史以外

【参加者コメント】

- 貰ったが全然書いていない。どこに置いたか。
- 最初のページ以外は白紙。
- 項目が多すぎる。見本がない。
- 自分史シート以降は何を書いているのか分からない。
- 内容が難しく説明を受けないとわからない
- 使い方がわからない

【参加者コメント】

- 書いて意味があるのか
- 何のために書くのか分からない
- 書き残す必要性がわからない
- なんで書かんといかんのか
- 認知症予防のために書くのかと思っていた

【参加者コメント】

- 自分の恥さらしだ
- 書くのが面倒
- まだ早い
- 昔のことはいい。これから先の事を書きたい
- 苦勞したことを書きたくない。楽しいことだけ残したい

【参加者コメント】

- 市報で初めて知った
- 民生委員だが手帳のことは知らなかった
- 初めて見た、全然知らなかった
- 名前も聞いたことがなかった
- もっと早くに知っていれば夫婦で書き進められた
- 家族が若年性認知症だった。もっと色々はなしてやりたいことを聞いておけばよかった。
- 一人暮らしは何かあった時が怖い。書いておくのは大事
- 近所の人が認知症だった。早くから知っていれば手伝ってきたかもしれない。

(2) 活用について

オレンジ手帳をどのように活用しますか？

1. 書き上げる

【参加者コメント】

自分の為に

- 自分の為に書いておこう
- 親も認知症だったので書いておこう

1人では進まない

- 講習に来てだんだん記入が進んできた
- 話を引き出してもらって書きやすくなった
- 1回で書き上げるのは無理
- 家で一人では開かない、書かない、進まない
- みんなと一緒に書ける
- 家で書こうと思ったけどダメ、書く場に来て書ける

1人でじっくり進めたい

- 自宅で少しづつ
- 1人で書き進めている

2. 家族と共有する

【参加者コメント】

家族にも伝えておこう

- 子供に書いていることを伝えておく
- 妻にもかかせる
- 家族や親族と話そうと思う
- 記入が終わったら、子供に渡したい
- 息子と相談して息子の目の届くところにおいておく
- 子供とこれからの話をする時にこの手帳を見せよう
- 離れて暮らす子供たちに、この手帳の存在を知らせておこう
- 子供にも自分の過去を聞かせてやる機会はない
- 子供に自分の気持ちを分かってもらおうよう書いておこう

子供に伝えた方がいいのか

- 子供に渡すかどうか迷う
- 誰に預けるか考える

3. 保管する

【参加者コメント】

- 出かけるときには持ち歩く
- 台所に置いていつも目につくように
- 書き上げたらわかるところに
- 独り住まいだから直し場所を考える

4. 広める

【参加者コメント】

- 友達にも教えたい
- 近所の人に声かけて広めたい
- 自治会を通して配ってはどうか
- 書けない人を手伝いたい

(3) 講習会に参加して

オレンジ手帳の理解が深まった

【参加者コメント】

- エピソードを書くことの大切さを知った
- どうゆうことを書き残すのが大事なんだと知った
- 事例を知って、どんな時に使うのか分かった
- どんなことを何のために記入するのか知れた
- 自分の意思を伝えるために必要と知った
- 義親が認知症だった。もっと勉強しておけばよかった
- 認知症の本人の気持ちを分かっていたらよかったのかな
- 以前のもを見直して書き直せるところがいい
- 認知症の講演会にも行かないと
- かける時に勉強ができて良かった

昔話は楽しかった

【参加者コメント】

- 昔のことを良く話した。楽しかった
- 昔のことを思い出し、たくさん話せた
- 思い出せなかった事も、思い出せるようになってきた。頭の体操になった
- 子供にも話したことがないような昔話できた
- わからなくなった母も昔話では話が弾んだ思い出がある

もっと広めてほしい 検討してほしい

【参加者コメント】

周知

- 講習会に参加できない人にもいきわたるように
- 葬儀屋やいろんな所でもらえるように
- 配るだけじゃなく、書き方を教える

内容検討

- 何度も同じ内容なら来る意味がない
- 新しく項目を増やしてほしい（趣味・介護への願い・終末期医療）

施設での活用

- 施設に入ったら小さい頃の思い出は役に立たない。施設は個人の拘りなど気に留めない

「広報いさはや(9月号)」 特集記事紹介

<表紙>



<家族の立場から>

NEW

認知症普及啓発DVD作成にかかるとWG

⇒コロナ禍で認知症講演会規模の集客はできないため、ワーキンググループを開催し、普及啓発の方法を検討。令和3年度に広報いさはや(9月号)で特集。認知症4コマ漫画連載。

特集 認知症を知ろう

認知症は、高齢者の約1割に発症する病気です。早期発見・早期対応が大切です。認知症の症状や原因、予防法、治療法について詳しく解説します。

認知症の発生メカニズム

認知症の発生メカニズムは、脳の神経細胞がダメージを受け、正常な働きができなくなることで起こります。原因としては、脳血管障害、アルツハイマー病、レビー小体型認知症などがあります。

認知症の予防法

認知症の予防には、定期的な運動、バランスの良い食事、十分な睡眠、ストレスの軽減などが効果的です。

認知症の治療法

認知症の治療には、薬物療法、認知症ケア、リハビリテーションなどがあります。

認知症のケア

認知症のケアには、認知症サポーターの活用、認知症ケア施設の利用などが有効です。

<地域の立場から>

現在 12,659 人がサポーター

広がる認知症サポーターの輪

認知症サポーターは、認知症の患者さんや家族をサポートするために活動しています。認知症サポーターの数は、令和3年度に12,659人に増加しました。

認知症サポーターの活動内容は、認知症の啓発、認知症の相談、認知症のケアなどです。認知症サポーターは、認知症の患者さんや家族にとって大切な存在です。

認知症サポーターの養成講座は、認知症サポーターの活動に必要な知識やスキルを学ぶことができます。認知症サポーターの養成講座は、認知症サポーターの活動の基盤となります。

認知症サポーターの活動は、認知症の患者さんや家族の生活の質を向上させることができます。認知症サポーターの活動は、認知症の患者さんや家族にとって大切な存在です。

<医療の立場から>

認知症専門医

認知症専門医は、認知症の診断や治療に専門的な知識やスキルを有する医師です。認知症専門医の数は、令和3年度に増加しました。

認知症を正しく理解することが大事

認知症を正しく理解することは、認知症の患者さんや家族にとって大切なことです。認知症の症状や原因、予防法、治療法について詳しく解説します。

認知症の早期発見・早期対応

認知症の早期発見・早期対応は、認知症の患者さんや家族の生活の質を向上させるために大切なことです。認知症の早期発見・早期対応には、認知症専門医の活用が有効です。

認知症のケア

認知症のケアには、認知症サポーターの活用、認知症ケア施設の利用などが有効です。認知症のケアは、認知症の患者さんや家族の生活の質を向上させるために大切なことです。

<シリーズの4コマ漫画>

新連載！ 認知症4コマ漫画 vol.1

こんな症状ありませんか？

何回目？

お薬のんでね！ ははいのもちろかね

3分経過

薬はのんだかな のんだよ

3分経過

そういえば薬のんだかな？ のんだよ

3分経過

薬はのんだかな？ のんだよ

すぐに忘れてしまう（短期記憶障害）

もの忘れは認知症の代表的な症状の一つ。脳の「海馬」という部分が障害されることで起こります。記憶をとどめておける時間が数分もたないことも。そのため、度重なるもの忘れや記憶が薄れていくことへの不安や焦りから、怒ったり混乱したりする場合があります。

世界アルツハイマーデーの取組

毎年9月21日は「世界アルツハイマーデー」

認知症の啓蒙のため、国際アルツハイマー病協会が世界保健機関と協働で制定

9月の世界アルツハイマー月間にちなんで、認知症のことを知って頂けるように、諫早市の各図書館では認知症特設コーナーを設置。常設のコーナーもあり、子供も大人も一緒に読んでいただける絵本や、映画化された本も紹介。

図書館で
特設コーナー設置

⇒9月の世界アルツハイマー月間に合わせて、市内の各図書館で認知症特設コーナーを設置し、普及啓発を行った。



諫早図書館



たらみ図書館



西諫早図書館



森山図書館



今後の活動と課題

◎ いさはやオレンジガイド完成版の作成と普及

- ① 最終段階(スーパー・コンビニ・公民館・図書館など)の設置に向けた検討
 - *スーパー・コンビニ等、商業施設への設置協力依頼
 - ・認知症施策では初めての領域。どのように、認知症への理解を求め、協力を仰ぐか
- ② いさはやオレンジガイドを利用しての本人、家族の声の集約
 - *設置協力機関を通じたアンケート実施、もしくは訪問等による聞き取り
- ③ いさはやオレンジガイドと諫早市認知症ケアパスの連動を評価
 - *諫早市認知症ケアパス更新にむけ検討

◎ 他事業との連動を心掛けた事業の展開

- 生活支援体制整備事業(第2層協議体活動、第3層活動)とのタイアップ
- *地域住民主体のSOS模擬訓練実施マニュアル作成とモデル実施
 - *本人発信支援のための活躍の場づくり

ご清聴
ありがとうございます
ございました。

